

 **新アカデミー合唱団**
NEW ACADEMY CHORUS

コンサート8

2025.8.16  開場 13:30
開演 14:00

札幌コンサートホール *Kitara* 大ホール

ごあいさつ

本日は、ご来場いただき誠にありがとうございます。私ども**新アカデミー合唱団**は、2016年1月に活動を開始しましたが、2020年から2年間コロナウィルス感染拡大のため活動を休止しました。そのため団員も減少しましたが、コロナ終息後活動を再開し本日に至っています。

—昨年「コンサート6」では、モーツァルト作曲「証聖者の荘厳晩課」を素晴らしいソリストと管弦楽団を迎えての演奏でお楽しみいただきました。

昨年「コンサート7」では、前半にハイドン作曲「天地創造ミサ」を管弦楽と一緒に演奏しました。後半は、千原英喜作曲「組曲「みやこわすれ」とジョン・ラターの小品集をお届けしました。ラターの小品集はオーケストラと一緒に演奏しましたが、オーケストラパート譜を国内で入手することができず、英国からのレンタル譜を使用して演奏いたしました。オーケストラ伴奏による演奏は、国内では珍しかったようです。

さて、今回は少し人数の多い合唱曲に取り組みたいと考え、賛助出演の皆様にご協力をいただき、3大レクイエムの一つと言われる「モーツァルト：レクイエム」に挑戦しました。また、前半には、札幌では、余り演奏されたことのない「ベートーヴェン：合唱幻想曲」を鹿野真利江さんのピアノ独奏と合唱でお楽しみいただきます。どうぞ、お楽しみください。

緑の木々に包まれた中島公園の札幌コンサートホール *Kitara* で、素敵な時間をお過ごしいただければ幸いです。皆様のご来場に心から感謝申し上げます。

2025年8月16日

新アカデミー合唱団

団員一同



2024年10月13日 札幌コンサートホール *Kitara* 大ホール

指揮 鎌倉亮太

第1部 ベートーヴェン「合唱幻想曲」op.80 (約20分)

Adagio
Allegro
Meno allegro
Adagio ma non troppo
Marcia, assai vivace
Allegretto, ma non troppo (合唱付)
Presto (合唱付)

ピアノ独奏：鹿野真利江

ソプラノ：倉岡陽都美
ソプラノ：松元 愛
アルト：松田 久美
テノール：荏原 孝弥
バリトン：下司 貴大
バス：粟野 伶惟
管弦楽：レクイエム合奏団

*** 休憩 (20分) ***

第2部 モーツァルト「レクイエム」KV 626 (約50分)

- I. INTROITUS
1) Requiem (永遠の安息を)
- II. KYRIE
2) Kyrie (憐れみの賛歌)
- III. SEQUENZ
3) Dies irae (怒りの日)
4) Tuba mirum (不思議なラッパの響き) 4重唱
5) Rex tremendae (恐るべき威厳の大王)
6) Recordare (思い出したまえ) 4重唱
7) Confutatis (呪われ退けられし者達が)
8) Lacrimosa (涙の日よ)
- IV. OFFERTORIUM
9) DomineJesu (主イエスよ) 4重唱・合唱
10) Hostias (讃美のいけにえと祈り)
- V. SANCTUS
11) Sanctus (聖なるかな)
- VI. BENEDICTUS
12) Benedictus (祝福された者) 4重唱・合唱
- VII. AGNUS DEI
13) Agnus Dei (神の子羊)
- VIII. COMMUNIO
14) Lux aeterna (永遠の光)

ソプラノ：倉岡陽都美
アルト：松田 久美
テノール：荏原 孝弥
バス：粟野 伶惟
管弦楽：レクイエム合奏団

ベートーヴェン「合唱幻想曲」(Fantasie für Klavier, Chor und Orchester, c-Moll, Op.80)

「ピアノと合唱、オーケストラのための合唱幻想曲」。ファンタジーといっても、魔法や妖精などが活躍する空想的物語の意味はなく、音楽のジャンルとしては一定の形式に当てはまらない自由な旋律を組み合わせた曲のことである。1808年12月22日の初演の際には、ピアノ協奏曲第4番、交響曲第5番『運命』、第6番『田園』などととも、4時間以上にわたる演奏会の最後のプログラムとして演奏された。ベートーヴェン自身によるほとんど即興的なピアノ演奏がオーケストラと上手く合わずやり直しを余儀なくされ、その後あまり演奏される機会もなかったようである。本日の演奏はいつも私たちの演奏を支えてくれている鹿野真理江さんをピアノ独奏にフューチャーし、女性ソロ三重唱、男性ソロ三重唱に続き、合唱団が「偉大なるもの、それが心に迫りくる／そうして新たに美しく／高みに向けて花開き／精神は高揚し／あらゆる精神の合唱が絶えずそれに唱和する／受け止めよ、汝ら美しい魂たち／歓びをもたらすたまもの、美しい芸術を／愛と力が結ばれるとき／人は神の恩寵を受ける」と高らかに歌い上げる。新アカデミー合唱団では初演。

モーツァルト「レクイエム」(Requiem in d-Moll, K. 626)

1791年7月、灰色の服を着、恐ろしく厳粛な顔つきの背の高い痩せた男が、署名のない丁重な依頼状を持ってモーツァルトの許に現れ、レクイエムの作曲を注文した。モーツァルトはこの男が「冥土の使者」と固く信じて作曲に取りかかる。1984年に公開された映画『アマデウス』の一場面である。映画ではモーツァルトの才能に嫉妬した宮廷音楽家サリエリが、病床のモーツァルトの作業を手伝ったうえで毒殺し、その葬儀で「自作のレクイエム」にしようと仕組んだと告白するのであるが、もちろんこれは劇作家ピーター・レヴィン・シェーファーによるフィクションである。この「冥土の使者」はフランツ・フォン・ヴァルゼック伯爵が亡くした夫人を追悼するために作曲委託につかわした家令である。

モーツァルトは「レクイエム」全14曲を仕上げることはできなかった。第8曲「ラクリモーサ」の最初の8小節だけ書き残し、その後の部分は弟子ジュスマイヤーが付け足して完成させた。本日もこのジュスマイヤー版の楽譜での演奏である。日本人でおよそ最初のモーツァルト論を書いた小林秀雄はその論を次のような文章で締めくくっている。「彼は、作曲の完成まで生きていられなかった。作曲は弟子のジュスマイヤーが完成した。だが、確実に彼の手になる最初の部分を聞いた人には、音楽が音楽に袂別する異様に辛い音を聞き分けるであらう。そしてそれが壊滅して行くモーツァルトの肉体を模倣している様をまざまざと見るであらう(小林秀雄全作品15『モーツァルト』p.103)。「音楽が音楽に袂別する」とはこの曲を単なる音楽としてのみ捉えることはもはやできないということだろう。だが「その辛い音が…壊滅していく肉体を模倣している」とは伯爵の家令を自身の「冥土の使者」と思い込んだのも、あながちありえないことではないということなのかもしれない。実際、映画で共同墓地にモーツァルトの遺体が無造作に投げ込まれるシーンにこの「ラクリモーサ」が流れていた。

映画における晩年のウィーンで破天荒な生活の末に夭折したモーツァルトと、ザルツブルグの「神童」、天才作曲家として崇められたモーツァルト、果たしてこれをどのように折り合いをつけたらよいのだろう。しかしこれらはともにモーツァルトという人のイメージに過ぎない。答えはあくまでも彼の残した楽曲のうちにある。「単純と多様」、「軽快と深淵」、「俗なるものと聖なるもの」。通常、両立するはずのないこうした二項が何の矛盾も無理もなく結びついているところにモーツァルトの「真実」があると、私には思われる。本日の演奏がその「真実」に少しでも近づいているとお聴きいただければ、幸いである。

(文責：テノール・北村清彦)



指揮：鎌倉 亮太

北海道教育大学大学院修士課程修了。フィンランド国立シベリウス音楽院へ留学。2006年札幌市民芸術祭大賞、2013年NHK旭川放送局賞、三浦洋一賞、2019年道銀芸術文化奨励賞を受賞。2023年札幌文化奨励賞を受賞。

ピアニスト、指揮者として活動の幅を広げ、ピアノ協奏曲の弾き振り、オペラコレペティトゥアなど活動は多岐に渡る。指揮者としては、北海道二期会において2013年に「不思議の国のアリス」、2014年に「ショパン」（いずれも北海道初演）、2017年に「不思議の国のアリス」（8重奏版北海道初演）の指揮を務めた。また、札幌コンサートホール kitara 主催オペラ「ヘンゼルとグレーテル」において指揮、PMF2019 プレミアムコンサートにおいてC. エッセンバッハ指揮の下、マーラー作曲交響曲第8番「千人の交響曲」の合唱指揮を務めた。

現在、札幌大谷大学芸術学部音楽学科教授。



ピアノ：鹿野 真利江

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コースを首席で卒業。同大学大学院修士課程修了。第15回リスト音楽院セミナーにて優秀受講生による受講生コンサートに出演。第8回、第9回横浜国際音楽コンクール、審査員特別賞。2024年、釧路にてピアノソロリサイタルを行う。

札幌市民ロビーコンサート、札幌市民芸術祭新人音楽会等、ソロやアンサンブルで多数の演奏会に出演。札幌市を中心に道内各地で演奏活動を行い、オペラや合唱のピアニストとしても幅広く活動している。

現在、YAMAHA MUSIC SCHOOL システム講師。音楽教室主宰。栗沢認定こども園リトミック講師。こども教育センター認定講師。新アカデミー合唱団ピアニスト。



ソプラノ：倉岡 陽都美

イタリア・オペラの名門ボイト国立音楽院で学び、満場一致の満点及び称賛付き首席で修了。パルマ王立歌劇場附属研修所にて研鑽を積み劇場デビュー、イタリア国内外で活躍。15年の活動を経て帰国、札幌コンサートホール Kitara、札幌文化芸術劇場 hitaru 各主催公演、HTB ジルベスターコンサート等多数出演し好評を博す。第31回道銀芸術文化奨励賞。藤原歌劇団正団員。



ソプラノ：松本 愛

国立音楽大学首席卒業。卒業時、武岡賞受賞。二期会オペラ研修所第63期本科修了。修了時、奨励賞受賞。第28回日本ドイツ歌曲コンクール入選。ヴィヴァルディ《グローリア》、バッハ《ロ短調ミサ曲》等のソリストを務める。これまでに声楽を、押見朋子、高橋織子、文屋小百合、倉岡陽都美の各氏に師事。二期会準会員。



アルト：松田 久美

札幌大谷短期大学音楽科卒業。2013年3月よりドイツケルンにて研鑽を積む。宗教曲ソリスト他、数多くのオペラでタイトルロールを演じる。エルム楽器声楽講師。札幌室内歌劇場各会員。女声合唱団「合歓」指揮者。



テノール：荏原 孝弥

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業、東京藝術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。イタリア、Osimo市オペラアカデミーを修了。新国立劇場オペラ研修所第19期修了。近年では大阪交響楽団《子供と呪文》、藤原歌劇団《ラ・チェネレントラ》、hitaru オペラプロジェクト《ドン・ジョヴァンニ》などに出演し高い評価を得た。



バリトン：下司 貴大

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業、同大学院修士課程修了。道銀文化財団奨励賞など多数の賞を獲得。2015年にローマ歌劇場のロッシーニ《セヴィリアの理髪師》の主役フィガロでデビューし、オペラの本場イタリアで活躍。帰国後は演奏活動のみならず、教育機関での芸術鑑賞やワークショップ、合唱指導やナレーションの分野にも力を注ぐ。



バス：栗野 伶惟

北海道教育大学大学院修了。第1回 hitaru オペラプロジェクト《フィガロの結婚》にてフィガロ、バルトロ役のカヴァーキャストを務め、第2回《ドン・ジョヴァンニ》ではマゼット役で出演。その他、《ドン・パスクワレ》、《アンドレア・シェニエ》《秘密の結婚》など、道内のオペラ公演に多数出演。

管弦楽：レクイエム管弦楽団

Member

新アカデミー合唱団

*賛助団員

ソプラノ	相澤 雅代*	東 俊子	安齊久美子	飯田 美穂	伊藤美智子	戎 恵子*
	大内 淑枝*	岡崎 理子	小谷 香織*	小原 則子	尾山亜紀子	笠島 友美
	加納みのり*	神田 祥子*	管野 鈴子	倉澤めぐみ*	小石 直美	齋藤由紀子
	島谷多津子*	旅河美穂子*	長 よし恵	新井田久枝*	二階堂ひさえ	西村ナホ子
	西本 純子	藤田 郁子*	三浦和香子*	三輪 邦子*	山下由美子*	若林 郁子
アルト	青木 香子*	安達みゆき*	飯塚 美西	池田 静子	今村 純子*	岡本 明子
	奥泉 康子*	工藤 弓子*	小林 千尋	菅原 淳子*	高浜真理子	田中 笙子
	土屋 春美*	中野美千代*	南部 紀子	橋本 裕子	長谷川真理子	林 雪子
	廣澤紀美子	福田 聡子	水口 裕子	宮本 恵子*	森 真理子	森田 景子*
	山谷 恵子	渡邊 満枝*				
テノール	油谷 一徳*	池端 正道	池野 孝*	石垣 昭典	今堀 新	金谷 隆
	河島 雅生*	北村 清彦	細木 正知	佐久間和良	佐々木真也	笹岡 憲泰
	管井 聖二	開本 英幸	中川 敬雅	沼畑 仁*	宮路 真人	村山 岳史*
	矢島 克美	山口 忠夫				
バス	赤石 尚一	鎌倉 清次	黒田 明慈*	駒澤 寛	齋藤 豊	下坂 登
	陣内 保*	田口 正之*	田中 誠	中野 好則*	中村 浩	名古屋英男
	南崎 哲史*	原田 伸一*	松田 典彦	村上 学*	山崎 学*	渡邊多加志*
	渡辺 直己					
ヴォイス トレーナー	高橋 雅子(ソプラノ・テノール)					
	東 園己(アルト)					
	下司 貴大(バス)					

管弦楽：新アカデミー合唱団のためのレクイエム管弦楽団

コンサートミストレス	山本 泰子			フルート	佐藤 由渚	船木 叶登
第1ヴァイオリン	山本 泰子	鈴木 京	太田 愛理	オーボエ	阿部 友亮	秋本 菜名
	溝田 令	小野寺百音		クラリネット	河野 泰幸	江口 恋冬
第2ヴァイオリン	齋藤 亜紀	林 ひかる	長谷川夕子	ファゴット	清水 彩会	守屋 はな
	徳田 和可			ホルン	上田 博美	菊地 爽来
ヴィオラ	前 南有	今井 佑佳	岩田 貴子	トランペット	高梨 優希	山本 千尋
チェロ	坪田 亮	中島 杏子	中川 恵美	トロンボーン	萩原 靖弥	工藤 弦汰
コントラバス	小笠原いづみ	鈴木 初			野口 隆信	
オルガン		伊藤 千尋		パーカッション		白戸 達也

新アカデミー合唱団 コンサート9

2026年5月24日(日) 開演：15時00分
札幌コンサートホール Kitara 大ホール

指揮：鎌倉亮太 ピアノ：鹿野真利江

- I. フォーレ「レクイエム」 <レクイエム室内管弦楽団>
- II. 信長貴富 混声合唱のためのメドレー「不滅のアンセム」
- III. 三善 晃「唱歌の四季」～2台ピアノによる混声合唱～

問い合わせ：合唱団事務局 下坂 登 090-8276-9383

E-mail: nac.shimo3-2016@dream.com

About New Academy Chorus

2016年1月、札幌アカデミー合唱団の解散により、同合唱団の団員を母体として、鎌倉亮太氏を正指揮者に迎えて発足。同年6月、第69回コーラス・フェスティバルにてお披露目。同年7月、「**新アカデミー合唱団コンサート1**」を札幌教育文化会館大ホールにて開催。ロッシーニの「小荘厳ミサ曲」、オペラ合唱曲を演奏。2017年6月の「コンサート2」はKitara大ホールで開催し、フォーレの「レクイエム」と団員演出によるミュージカルナンバーを演奏した。2018年5月の「コンサート3」もKitara大ホールで開催。グノー「聖チェチーリアのための荘厳ミサ曲」と英仏伊の歌を、2019年5月の「コンサート4」ではブルックナーの「テ・デウム」とオペレッタの合唱曲を演奏。その後2020年からコロナ感染拡大のため演奏会を2年間実施出来なかった。2022年5月開催の「コンサート5」では、ヴィヴァルディ「グロリア」、信長貴富「1971年生まれポップ・ソング」、源田俊一郎編曲「ふるさとの四季」を演奏した。続く2023年5月「コンサート6」では、モーツァルト「証聖者の荘厳晩歌」、信長貴富「ヴィヴァルディが見た日本の四季」を演奏した。昨年2024年10月の「コンサート7」では、ハイドンの「天地創造ミサ」、千原英喜「みやこわすれ」、そしてジョン・ラターの小品集をロンドンからオーケストラ用レンタル譜を取りよせて管弦楽付きで演奏し好評を博した。宗教曲・オペラ・ミュージカルなどの曲を得意としている。

また、他団体主催行事への賛助出演等も多く、2017年2月に北海道教育大学岩見沢校の学生・OB・OGによる「Young Hokkaido Philharmony」(F・キーンレ指揮)が主催する3回のベートーヴェン「第9」公演に出演し、同年10月には太平洋フェリーで洋上コンサートを開催、同年11月には御法川雄矢指揮の俊友会「第9演奏会」へ賛助出演した。2019年7月にはC・エッシェンバッハ指揮(合唱指揮:鎌倉亮太)のPMFプレミアムコンサート・マーラー「千人の交響曲」、同年9月には山下一史指揮、札幌交響楽団信時潔「海道東征コンサート」に出演している。

さらに、北海道二期会主催の「カヴァレリア・ルスティカーナ(2016.12)」「不思議の国のアリス(2017.11)」「椿姫(2019.3)」「道化師(2019.11)」、hitaru オペラプレ公演「蝶々夫人(2021.3)」、LCアルモーニカ主催「ラ・ボエーム(2016.12)」「ホフマン物語(2018.8)」「アドリアーナ・ルクヴルール(2022.1)」、オペラファクトリー北海道主催「Pagliacci(2019.6、2020.1)」、札幌市教育文化会館主催「歌劇ノンノ(2021.8)」、北海道二期会 with オペラファクトリー主催「パリアッチ(2021.10)」、北大交響楽団百周年記念「第九演奏会(2022.12)」、LCアルモーニカ主催「アンドレア・シェニエ(2024.1)」、JFO札幌演奏会「マーラー/復活(2024.3)」、札幌第664回定期演奏会「ブルックナー/テ・デウム(2024.10)」、北海道二期会創立60周年記念「こうもり(2024.11)」、北海道農民管弦楽団演奏会「C・オルフ/カルミナ・ブラーナ(2025.2)」、札幌第668回定期演奏会「マーラー/復活(2025.4)」にも多くの団員が出演するなど積極的に活動している。

ゆきまさ
中川敬雅税理士事務所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西16丁目1番地
第一ビル6F

TEL 011-688-8285 FAX 011-688-8286

♡♡ **みなさまの今日と明日を** ♡♡
もっと笑顔に

- ・訪問介護せいかうケアサービス ・グループホームみやこ
- ・グループホームみやこ東山館 ・グループホームみやこ緑ヶ丘館
- ・小規模多機能型居宅介護むすぶ ・鍼灸整骨院エスポアール
- ・就労継続支援B型事業所わいわいG

西光グループ本社

〒062-0911 札幌市豊平区旭町2丁目1-15-1003
TEL 011-811-7300 FAX 011-811-7722

ENAC